

# 製品名： ペストワシニューラバーペースシリーズ

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称： ペストワシニューラバーペース シリーズ  
 墨川、墨川、墨E-100、藍、群青  
 株式会社T&K TOKA  
 〒354-8577 埼玉県入間郡三芳町竹間沢283-1  
 技術本部 研究第1グループ  
 (TEL:049-258-3653, FAX:049-259-3260, E-MAIL(URL):http://www.tk-  
 toka.co.jp/request/sales/index.html)  
 株式会社T&K TOKA  
 緊急連絡電話番号： 049-258-3653  
 推奨用途： 枚葉オフセット印刷に使用する

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類 該当しない

GHSラベル要素

絵表示： ハザードを示す絵表示なし

注意喚起語： なし  
 危険有害性情報： なし

注意書き：

安全対策 (P261) 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。  
 (P272) 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
 (P302+P352) 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。  
 (P333+P313) 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。  
 (P363) 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。  
 (P501) 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に事業委託すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

成分及び濃度又は濃度範囲

成分名称	該当するイソキ	含有量 wt. %	CAS#	化審法	安衛法	化管法		
				情報公示 番号	情報公示 番号		通知物質 番号	指定 物質 濃度以下
モノブデン及びその化合物	群青	2未満 (Mo: 0.2)	1325-82-2	---	---	603	規制濃度以下	
		10-20		147-14-8	5-3299	公表	379	非該当
		10-20		147-14-8	5-3299	公表	379	非該当
		1未満		1328-53-6	5-3315	公表	379	非該当
銅及びその化合物	群青	10-20	1333-86-4	5-5222	公表	130	非該当	
		15-25		---	---	---	168	非該当
カーボンブラック	全てのイソキ	1未満	---	---	---	168	非該当	
成分概略								
合成樹脂		20-35						
植物油		20-45						
顔料	全てのイソキ	25以下						
補助剤		10-20						
		1-5						

Mo：モノブデン金属比率

## 製品名： ベストラジニユールーパーベースシリーズ

### 4. 応急措置

吸入した場合：

(P304+P340) 吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
(P314) 気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

呼吸が苦しい場合は、酸素吸入を施すこと。

皮膚に付着した場合：

(P302+P352) 皮膚に付着した場合： 多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。  
(P303+P361+P353) 皮膚（又は髪）に付着した場合： 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。  
(P333+P313) 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合： 医師の診断／手当てを受けること。  
(P362) 汚染された衣類を脱ぐこと。

眼に入った場合：

(P337+P313) 眼の刺激が続く場合： 医師の診断／手当てを受けること。  
接触した場合には、少なくとも15分間大量の水で直ちに洗眼すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後直ちに医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合：

(P301+P330+P331) 飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
(P313) 医師の診断／手当てを受けること。

必要に応じた速やかな治療と必要とされる特別な治療の指示： (P321) 特別な処置が必要である（このSDSの注意書きを見よ）。

### 5. 火災時の措置

消火剤：

特有の消火方法：

粉末、泡、二酸化炭素、乾燥砂、霧状の強化液  
(P381) 安全に対処できるならば着火源を除去すること。  
速やかに容器を安全な場所に移す。  
移動不可能な場合には容器及び周囲に散水して冷却する。

消火を行う者の保護：

(P370+P376) 火災の場合： 安全に対処できるならば漏えい（洩）を止めること。  
火災の風上に立つこと。防火服および空気呼吸器等の装備を着用すること。放水により収納設備を冷却すること。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置：

風下の人を退避させる。漏出した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入り  
を禁止する。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。  
屋内の場合には処理が終わるまで十分に換気を行う。

8章で推奨する保護具を着用すること。汚染領域から退避させ、必要な場合以外および保護具を着用していない人員の立ち入りを防止すること。

環境に対する注意事項：

(P273) 環境への放出を避けること。  
排水系、下水または水路への漏出を防止すること。  
濃厚な洗浄廃液が河川に排出しないよう注意する。

封じ込め及び  
浄化の方法及び機材：

(P391) 漏出物を回収すること。  
漏出した液は土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、密閉可能な空容器に分散剤を用いて洗い流す。その場合中性洗剤等の分散剤を用いて洗い流す。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い、 技術的対策：

(P210) 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。

(P272) 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
局所排気、全体換気： 適切に換気し保護具を着用し取扱うこと。

## 製品名： ベストワン ニューラバーベース シリーズ

注意事項： 容器を転倒させ、落下させ、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。  
安全取扱注意事項： (P103) 使用前にラベルをよく読むこと。

(P201) 使用前に取扱説明書を読み理解すること。  
(P202) 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
(P260) 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
換気の良い場所での保管および取扱うこと。  
目、皮膚あるいは衣類との接触を避けること。  
取り扱いはは良く洗うこと。  
飲食または喫煙する前には手を洗うこと。

保管 安全な保管条件：

(P235) 涼しいところに置くこと。  
(P403+P233) 換気の良い場所での保管すること。容器を密閉しておくこと。  
ボイラー等熱源付近や可燃性物の付近には置かない。  
指定数量以上の場合には、火災予防条例に従う。  
安全な容器包装材料： 火災予防条例に適合する容器を使用し容器から漏れないことを確認する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策： 適切に換気し取扱うこと。  
許容濃度

成分名称	厚生労働省(安衛法)		日本産業衛生学会	
	管理濃度	許容濃度	ACGIH	TLV-TWA
モリブデン及びその化合物	—	—	—	10mg/m <sup>3</sup> as Mo
銅及びその化合物	—	(第3種粉塵) 8mg/m <sup>3</sup>	—	—
カーボンプラック	—	(吸) 1-(総) 4mg/m <sup>3</sup>	3mg/m <sup>3</sup>	—
鉱油	—	(有機シスト) 3mg/m <sup>3</sup>	(有機シスト) 5mg/m <sup>3</sup>	—

保護具 呼吸用保護具：

(P280) 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
換気の良い場所での保管および取扱うこと。  
(P280) 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
適切な目保護具を着用し目への接触を防止すること。  
(P280) 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
取扱後および飲食前には良く洗うこと。  
飲食または喫煙する前には露出した皮膚を石けんと水で洗うこと。  
マスク等の吸着剤の交換は定期的又は使用の都度行う。

適切な衛生対策：  
皮膚及び身体の保護具：

## 9. 物理的及び化学的性質

製品 形状： ベースト状  
色： 顔料により異なる  
臭い： 油臭  
pH： データなし  
比重(密度)： 0.9-1.2

成分

成分の名称	沸点(°C)	比重	水への溶解性	引火点(°C)	発火点(°C)	爆発限界 vol%
鉱油	275-306	0.815	不溶	142	200-410	1-7
銅及びその化合物(フロッティング顔料)	—	1.6	不溶	—	—	—

## 10. 安定性及び反応性

## 製品名： ベストワン ニューラバーベースシリーズ

化学的安定性： 空気と接触して徐々に酸化重合する。  
 危険有害反応可能性： この製品の乾燥皮膜及びこの製品を拭き取ったウエス等は、堆積すると発熱し発火

避けるべき条件： 過熱

危険有害な分解生成物： 燃焼によりCO、NOx等の有害ガスが発生する恐れあり。

### 1.1. 有害性情報

製品 データなし  
 成分の有害性情報 (GHS区分)

GHS分類	成分名称	GHS区分
急性毒性 (経口)		区分外
急性毒性 (経皮)		分類できない
急性毒性 (吸入：気体)		分類対象外
急性毒性 (吸入：蒸気)		分類できない
急性毒性 (吸入：粉塵・ミスト)		分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		区分外
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		区分外
呼吸器刺激性		区分外
皮膚感作性		区分外
生殖細胞変異原性		分類できない
発がん性	カーボンブラック	区分2
特定の臓器毒性 (単回ばく露)		分類できない
特定の臓器毒性 (反復ばく露)	カーボンブラック	区分外
特定の臓器毒性 (反復ばく露)		区分1
吸引性呼吸器有害性	鉱油	区分1

GHS分類について

- カーボンやチタンはIARCにおいて発がん性2Bと評価されている。しかし、インキや塗料としての使用時のばく露は少ないので発がん性リスクを低くみていいとしている (粉体としてのばく露が発がんの原因とされている) 。同じ考え方から、当社でもインキ中に含まれているこれらの揮発性のない物質の発がん性は評価していない。また、同様に使用時のばく露が少ないと考えている物質については、リスクを低くみているものがある。
- 一部の有害性では、JISZ7252:2009 よりもきびしい条件 (GHS国連文書記載の低い閾値) で評価している。
- シリーズでの分類評価は、各色インキでのGHS分類を行い、該当する危険有害性情報のうち危険有害性の高いものをまとめてシリーズの危険有害性としている。

### 1.2. 環境影響情報

製品 データなし

成分の環境影響情報 (GHS区分)

GHS分類	成分名称	GHS区分
水性環境有害性 (急性)		分類できない
水性環境有害性 (慢性)		分類できない

### 1.3. 廃棄上の注意

廃棄方法： 各国の法律に従い廃棄すること。

ドラム缶等に入れ、横転しても内容物が外部に流失しないように密栓する。

焼却する場合は産業廃棄物処理基準に従って焼却する。

外部委託の場合には、廃油 (可燃性) であることを明記し、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

## 製品名： ベストワン ニューラバーベースシリーズ

### 14. 輸送上の注意

国連勧告 国連分類：  
緊急時応急措置指針  
輸送の特定の  
安全対策及び条件：

該当しない  
指針番号：171  
15章 適用法令に従い、輸送すること。  
危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起さないように運搬すること。  
容器の破損、漏れがない事を確認し、荷崩れ防止を確実に行うこと。  
消防法の危険等級Ⅲに準ずる運搬容器に収納して運搬する。

### 15. 適用法令

消防法：  
毒劇法：  
安衛法：  
PRTR法 (化管法)：  
安衛法 (特化則)：  
安衛法 (有機則)：  
安衛法 (がん原性)：  
安衛法 (変異原性)：

指定可燃物 可燃性固体類  
非該当  
表示対象物質及び通知対象物質：モリブデン及びその化合物、銅及びその化合物、カーボンプラック、鉱油  
非該当  
非該当  
非該当  
非該当

### 16. その他の情報

参考文献：

化学物質総合検索システム (独立行政法人 製品評価技術基盤機構 NITTE)  
独立行政法人 国立環境研究所データベース <http://www-chemdp.nies.go.jp>  
原材料のMSDS  
ICSC CARD <http://www.nihs.go.jp/ICSC>  
RTECS  
ACGIH  
日本産業衛生学会  
IARC

免責文：

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性に関して保証するものではありません。注意事項は、通常の取扱いを対象にしたもののため、特殊な取扱いの場合には、自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずる必要があります。十分にご注意ください。